

目次

はじめに	3
Foreword	
大橋 正和/Masakazu OHASHI	

原著論文

動力規模拡大の歴史ー生産技術の歴史をスケーリングするー	5
Scaling the historical expansion of the motive power	
坂田 直起/Naoki SAKATA	
Adaptive Search Framework: Better Search Result for Community	29
Papon YONGPISANPON1, Masao OHIRA, Akinori IHARA, Kenichi MATSUMOTO	
中小企業における紐帯活用とアーキテクチャ・ダイナミクス	45
ー中堅テントメーカーに見る新規事業創出事例からの考察ー	
Use of connections and architecture dynamics in small- and medium-enterprises: Observations of a medium-sized tent manufacturer's efforts to create new businesses	
亀井省吾/Shogo KAMEI, 大橋正和/Masakazu OHASHI	
大震災の記憶の想起に関するー考察	63
ー地域における住民の記憶の想起と地域の政策決定との関連性に係る試験的な分析ー	
Review on memory retrieval of major earthquakesーTrial analysis of the relationship between memory retrieval by local residents and policy-making in the regionー	
倉田 紀子/Noriko KURATA	
情報社会学会誌 論文投稿のご案内	75

はじめに

情報社会学会会員の皆様

情報社会学会誌 Vol8, No2 をお届けいたします。

本号では、4本の原著論文を掲載いたします。いずれも、独自性、新規性があり、情報社会学への貢献は大きいと考えます。

原著論文「動力規模拡大の歴史—生産技術の歴史をスケーリングする—」は、動力規模の拡大について分析を行い、べき乗則と現象との乖離を対数周期性の理論(log-periodicity)を用いて研究を行ったものです。さらに太陽光などの新しいエネルギー源についてそれらの理論を用いてメガ・ソーラーの実証データからパラメーターを決定し、熱機関に代わって拡大する時期を予測した論文で、独自性のある意欲的な研究であると評価します。

原著論文“Adaptive Search Framework: Better Search Result for Organization”は、興味深い内容で学問的価値は掲載に値すると判断します。本研究の最終目的である組織のナレッジマネジメントの必要性について、従業員の検索ワードや検索結果、ブックマークを分析することにより、組織で必要としている知識を推測するアプローチは有効的であると考えます。今後のさらなる研究に期待します。

原著論文「中小企業における紐帯活用とアーキテクチャ・ダイナミクス—中堅テントメーカーに見る新規事業創出事例からの考察—」は、企業が持続的成長を遂げるのに不可欠な新規事業創出について、そのプロセスにおける紐帯の動態的変化を二つの視点から事例をもとに検証した独自性のある研究です。

原著論文「大震災の記憶の想起に関する一考察—地域における住民の記憶の想起と地域の政策決定との関連性に係る試験的な分析—」は、大震災を経験した住民にどのような「印象」で記憶され、後年、どのように「心象」が形成されて想起され、地域の政策判断に影響したのかを「心象度」とし先例のない新規性のある研究です。

今後も会員皆様の積極的な研究活動に期待すると同時に情報社会学に関する多彩なご投稿をお待ちしています。

2014年3月25日

情報社会学会
会長・編集委員長
大橋 正和

